

精神看護学臨地実習

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：実習

単位：2単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：精神看護の特性と看護ケアの特殊性を理解し、看護に必要な基本的知識、技術、態度を養う。

- 到達目標**：①対象とのかかわりを通し、精神障害のある対象を理解する
②治療的コミュニケーションの技法及び精神科における看護援助を実践する
③精神障害をもつ対象の生活を理解し、地域社会での支援システムを説明できる
④看護学生として責任ある行動や態度を修得する

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎守村 洋・伊東 健太郎・星 幸江

■**授業計画・内容**：

別途、配布する「精神看護学臨地実習要項」「オリエンテーション資料」に基づいて、オリエンテーションを受け、2週間の精神看護学臨地実習に臨む。

精神科急性期病棟あるいは慢性期病棟において1週間の実習を行い、もう1週間はデイケア等社会資源にて実習を行う。週の順序は問わない。金曜日は学内にてロールプレイ（1週目）と実習報告会（2週目）を通じて実習での学びを深める。

■**教科書**：『看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術』／山本勝則ら編（メヂカルフレンド社）

■**参考文献**：『精神障害者の退院計画と地域支援』／田中美恵子編著（医歯薬出版）

■**成績評価基準と方法**：実習目標の到達度（90%）、学内演習・報告会（10%）とする。出席参加度は、減点法とする。なお、2/3以上の出席を満たさなければ評価の対象としない。

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
実習目標に対する到達度	◎	◎	◎	◎		90
学内演習・報告会	○	○	○	○		10

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：「精神看護学概論」「援助の人間関係論」「精神看護援助論」「精神看護技術論」

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：健康管理に留意し実習に臨んで欲しい。実践の現場から多くのことを学んでもらいたい。